

平成20年度 現職教育研究計画

須賀川市立西袋第二小学校 現職教育部

1 研究主題

『確かな学力を身につける教育の実現 - 算数科を中心に - 』

2 研究主題設定の理由

1) 今日の課題から

平成18年2月に教育基本法が60年ぶりに改正され、それを受けて平成19年6月に学校教育法の一部が改正された。

ここでは、「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視し、さらに、学力の重要な要素として、基礎的・基本的な知識・技能の習得、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、学習意欲の3つを示している。

ここで示された教育の基本理念は、現行学習指導要領が重視している「生きる力」の育成にほかならず、子どもたちに生きて働く確かな学力を身につけていくことは、子どもたちの「生きる力」の育成に応えるものである。

したがって、『確かな学力を身につける教育の実現』は、今日の学校教育の果たすべき大きな使命の一つといえる。

2) 教育目標具現の視点から

本校では、「自ら学ぶ、豊かな人間性とじょうぶなからだをもった子ども（なかよくできる子・からだをきたえる子・よく考える子・しんぼうづよい子）」を教育目標に掲げ、中でも「よく考える子」については、今年度、「確かな基礎学力を身につけることができる」子どもの育成を教育活動の重点として掲げている。

そのため、「確かな基礎学力」を培う教育指導を充実させると共に、授業力・資質を高める研究を推進していくことを教育活動展開の重点とし、「基礎基本の徹底・習熟」「学びの基礎となる構えのづくり」「豊かな自然体験・社会体験の保障」「わかる授業づくり」「評価の工夫」「『はなす・きく』力の育成」を図っていくことを実践事項としてしている。

上記のことを踏まえ、教育活動の重点としている「確かな（基礎）学力を身につける」教育の実現に向けて取り組むことは、まさに教育目標の具現につながるものである。

3) 児童の実態から

個々の児童を見ると、素直で指示されたことにはまじめに取り組もうとする良さを持っている児童が多い。しかし、その反面、自分から学ぼうとする意欲的な態度が見られない児童が多いともいえる。その背景には、「学び方が分からない」、「基礎的・基本的なことが身に付いていない」ことなどがあげられる。

基本的な学習の仕方を身につけ、基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけることを学習の基盤としていくことは、分かる楽しさ、できる喜び、学び合う充実感が味わえる授業を展開していくことにつながるものであり、子どもたちが生涯にわたって学ぶ意欲を育てていくものであり、「生きる力」を育むものである。

4) これまでの研究から

本校では、これまでの3年間、算数科の授業における「確かな学力をはぐくむ指導法の工夫」を研究テーマとして算数科の学力向上を目指した共同研究を行ってきた。中でも3年目の昨年度は、授業研究を充実させるためにブロック研究を中心にした共同の授業研究を行った。しかし、ブロックでの十分な研究協議の時間を確保することが難しかったことや、学年1クラスであるために学級ごとの発達段階や児童の実態が異なることから共同研究の手だての積み上げや仮設検証が難しかったという反省が出された。また、児童の意識調査からは算数好きな児童が減ったという課題が残った。加えて、学力調査結果からは、国語より算数が落ちこんでいるという課題が残っている。

そのため、昨年に引き続き、算数科に教科を絞ることとしながら、より学級の実態にあった研究とするため、学級ごとに児童の実態を踏まえた個々の教師の創意工夫ある研究として、「確かな学力を身につける教育の実現」を共同のテーマとし、各自が授業を開き、授業について共に語り合うことを通して、個々の教師の授業力を磨く共同の研究としていきたい。

3 研究仮説

学級集団における学力の実態を分析し、それを基にした対策を学級の特色を生かして講じていけば、個々の学力を向上させることができるだろう。

4 研究計画

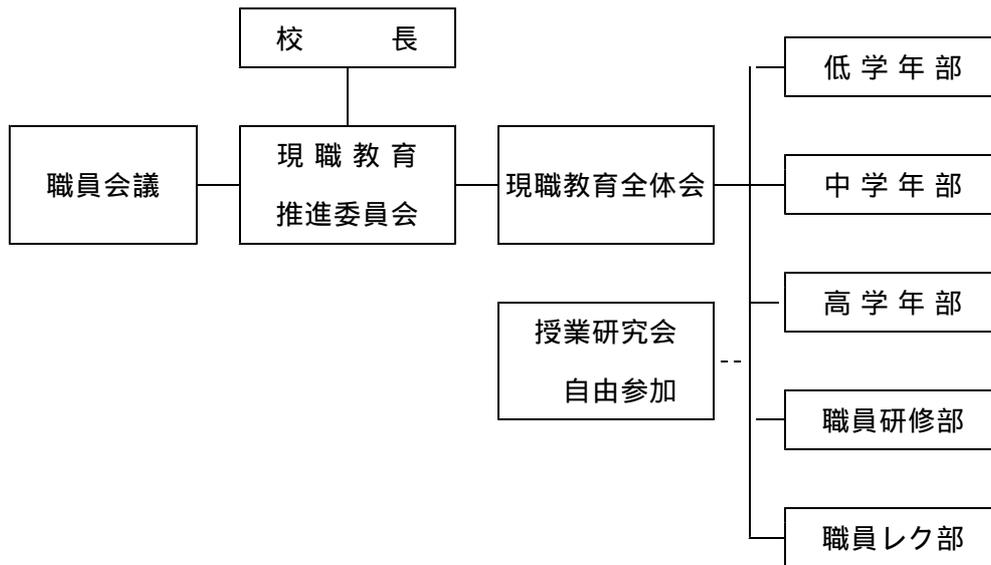
1) 研究内容(例)

- 児童の実態把握の研究
- 学力向上学級プランの作成と活用の研究
- 算数科のわかる授業づくり研究
- 朝のチャレンジタイムの活用研究
- 補充学習の研究
- 評価の工夫の研究

2) 研究方法

- 各学年2回程度の授業研究
- 児童の実態調査(意識調査)
- 自己評価(カード)の累積と分析
- 評価基準に基づいた児童評価の累積と指導分析

5 研究組織



6 各組織の役割

職員会議	研究日程の調整
現職教育推進委員会	研究計画案の作成・提案 共同研究内容の作成・提案 研究資料の収集 共同研究物の作成・提案 講師派遣申請 文献購入希望取りまとめ
各学年部	児童の実態把握 学力向上学級プランの作成 日常活動の推進 授業研究の開催 授業観察の分担と依頼 事後研究会の運営
職員研修部	情報処理教育の推進 実技研究の企画・運営
職員レク部	職員レクの企画・運営